

婦人会 炊き出しに活躍

昨夜に引続き、食料確保の任を受けた朝日町婦人は、各部落の炊き出しに平行して、役場前広場に臨時炊事場を作り、川崎会長陣頭指揮の下、役場女子職員（保育園職員も含む）も之に加わり、5日間早朝より夕方おそくまで、我が家のあと始末もかへりみず、手の平を赤くして、握りめし、づくりに懸命の作業が行われた。この間各部落含めて約400名の人が動員された。

この間、にぎり約4万個、飲料水約80^m（バケツに約3,000杯）が救援供給された。

これも各位の協力で！！

停電、断水の為以上の炊き出し用の水、白米の手持不足によりその操作には町民各位の協力、涙ぐましい努力によって之を確保することが出来た。

即ち小向大鷹三五郎氏、柿稻垣、縄生安達両酒造店殿等の井戸水を心より提供して頂いたこと、白米に関しては、農協の立替（28俵）、各部落個々の立替等により食料源の確保を得たのである。又東芝工場に於ても、自家発電によりいち早く水源地の復旧に努力され、炊出しは勿論のこと全町民は暗夜に燈を得た如く、悪病の発生も見ず、復旧への気力を倍加したのである。電力、電話の復旧に対して、安達安光議員、水谷朝日郵便局長の尽力も又大であった。

青年団も活躍

10月11日、朝日町青年団員約40名は、母校明和中学校へ跡かたづけの作業に奉仕した。全く泥沼と化した運動場の泥除に、川越村寺本氏の自動車、農協のオート三輪の応援を得て運動場の約3分の2の除泥を行った。女子団員は樹木等のかたづけをした。

※取り組みの紹介

【民俗調査】 7月13日（月）埋縄・柿公民館にて昔ばなし懇談会、16日（木）、17日（金）、24日（金）真光寺、21日（火）、22日（水）、24日（金）浄泉坊、27日（月）善照寺、24日（金）、8月5日（水）苗代神社にて慣例行事の調査を実施しました。

7月13日午前
埋縄公民館



7月13日午後
柿公民館



【文献史料調査】 7月14日（火）～17日（金）国立公文書館にて文書調査を実施しました。

【萬古焼調査】 7月14日（火）、20日（祝・月）、21日（火）、28日（火）、8月4日（火）陶磁器調査、8月5日（水）資料調査を実施しました。

【考古調査】 8月1日（土）縄生・小向地内にて遺跡の分布調査を実施しました。

【文献史料部会】 8月7日（金）朝日町公民館にて、今後の取組みについて検討しました。

墨で書かれた文書類、明治～昭和時代の古い記録、建物・風景写真など、資料提供をお願いします。

問い合わせ先：町史編さん課（朝日町公民館内）TEL 377-5195 FAX377-5196